

Chiba Weekly Report

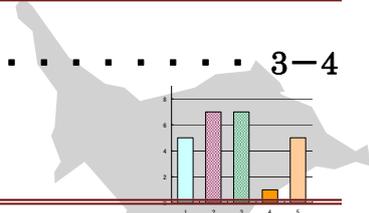
2025 — 第 2 週 — 2025/1/6～2025/1/12

千葉県結核・感染症週報 (抜粋)

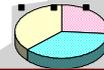
千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

インフルエンザ、侵襲性肺炎球菌感染症



全数報告疾患集計表 5



定点報告 (五類感染症)

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)・
急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・
マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・感染性胃腸炎 (ロタウイルス)

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-15

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)・
急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2025年 第2週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	2週	1週	52週	51週	50週
小児科	小児科定点医療機関数			127	104	126	126	126
	RSウイルス感染症			0.11 14	0.09 9	0.19 24	0.16 20	0.12 15
	咽頭結膜熱			0.30 38	0.02 2	0.35 44	0.31 39	0.28 35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		長生(9.3)、習志野(8.7)、 松戸(4.9)	2.62 333	0.66 69	3.28 413	3.74 471	3.19 402
	感染性胃腸炎		印旛(9.6)、松戸(7.1)、 千葉市(6.7)	5.39 685	1.03 107	4.27 538	5.23 659	4.39 553
	水痘			0.25 32	0.08 8	0.13 16	0.26 33	0.36 45
	手足口病			0.13 17	0.08 8	0.55 69	1.13 143	1.82 229
	伝染性紅斑		長生(7.5)、柏市(5.3)、 松戸(5.1)	2.69 342	0.42 44	1.79 226	2.20 277	2.31 291
	突発性発しん			0.21 27	0.04 4	0.25 32	0.21 26	0.17 21
	ヘルパンギーナ			0.01 1	0.00 0	0.04 5	0.00 0	0.00 0
	流行性耳下腺炎			0.05 6	0.01 1	0.04 5	0.03 4	0.05 6
	インフルエンザ / COVID-19	インフルエンザ/COVID-19定点医療機関数			201	172	203	203
インフルエンザ			君津(64.1)、香取(61.0)、 海匝(56.8)	40.02 8045	28.33 4872	78.98 16033	60.03 12187	24.49 4971
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)			君津(13.0)、市原(11.9)、 長生(11.6)	7.88 1584	4.22 726	7.45 1513	5.85 1187	3.68 747
眼科	眼科定点医療機関数			33	28	35	35	35
	急性出血性結膜炎		君津(2.0)	0.12 4	0.00 0	0.03 1	0.03 1	0.03 1
	流行性角結膜炎		市原(7.0)、印旛(3.5)、 船橋市(2.0)	1.33 44	0.14 4	0.94 33	0.89 31	0.77 27
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎		80代1例	0.11 1	0.00 0	0.11 1	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎		10歳未満5例、10代1例	0.67 6	0.56 5	1.56 14	1.33 12	2.22 20
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.11 1	0.00 0	0.00 0
全数	風しん			0	0	0	0	0
	麻疹			0	0	0	0	0

備考1 増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

* COVID-19を除く

備考2 数値は診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、今後変動することがあります。

【今週の注目疾患】

《インフルエンザ》

千葉県では、インフルエンザ警報発令中です¹⁾

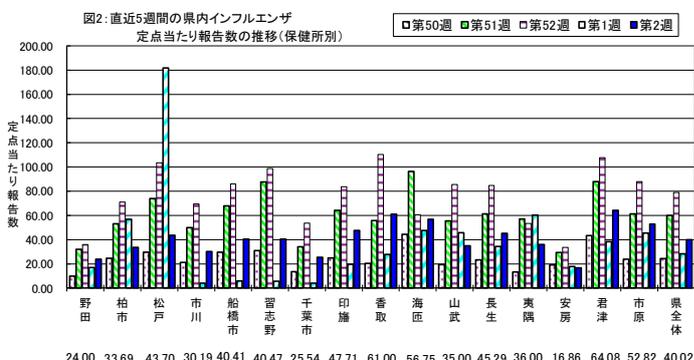
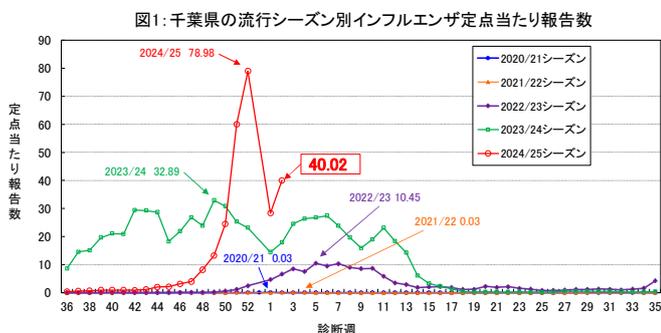
2025年第2週における県内のインフルエンザ定点医療機関からの定点当たり報告数は40.02(人)と(図1)、依然、報告数が多い状況にあることから、注意が必要である。

保健所別では、特に君津、香取、海匝が多くなっていた(図2)。

年齢群別では、10歳未満が2,824例(35.1%)と最も多く、次いで10代が1,351例(内訳は、10～14歳が903例、15～19歳が448例、合わせて16.8%)、40代が849例(10.6%)と続いた。

より重症な症例数の推移を反映する9か所の基幹定点医療機関からの入院患者報告数は155例と、今シーズン(2024年第36週から)で最も多くなっていた。

また、定点医療機関の任意の協力により集計している迅速診断の結果では、7,191例中6,926例(96.3%)がA型であった。



■参考・引用

- 1)千葉県健康福祉部疾病対策課：インフルエンザ警報の発令について(令和6年12月25日)
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2024/infulu-keihou2024.html>

《侵襲性肺炎球菌感染症》

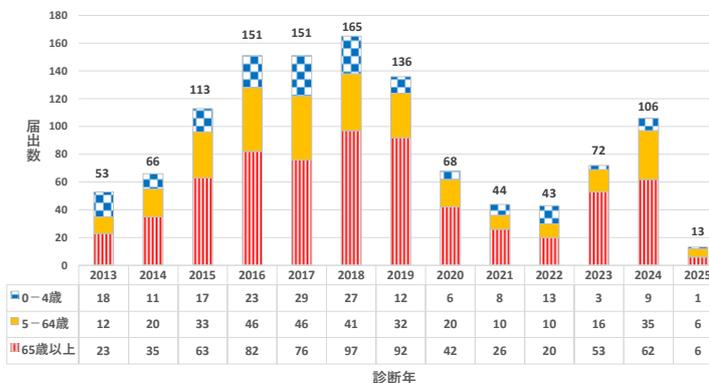
2025年第2週に県内医療機関から侵襲性肺炎球菌感染症(Invasive pneumococcal disease, IPD)の届出が8例あり、2025年の累計は13例となった。

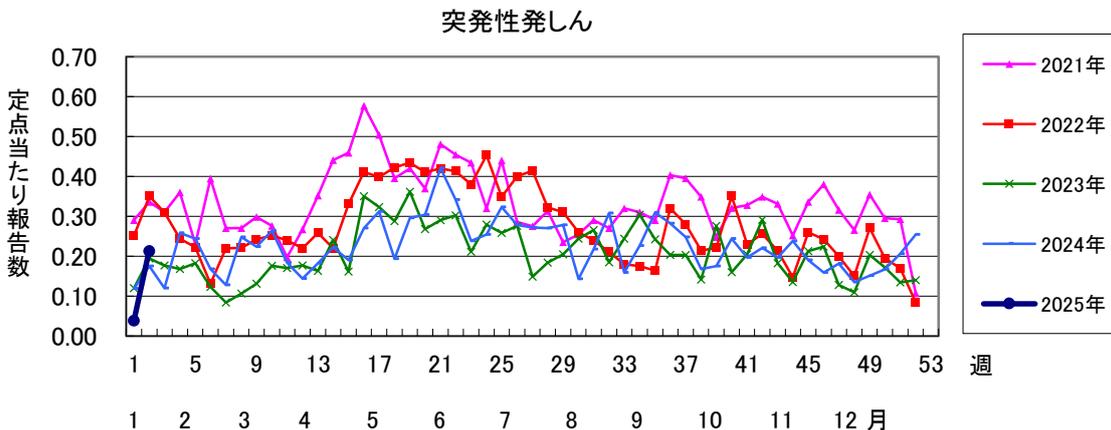
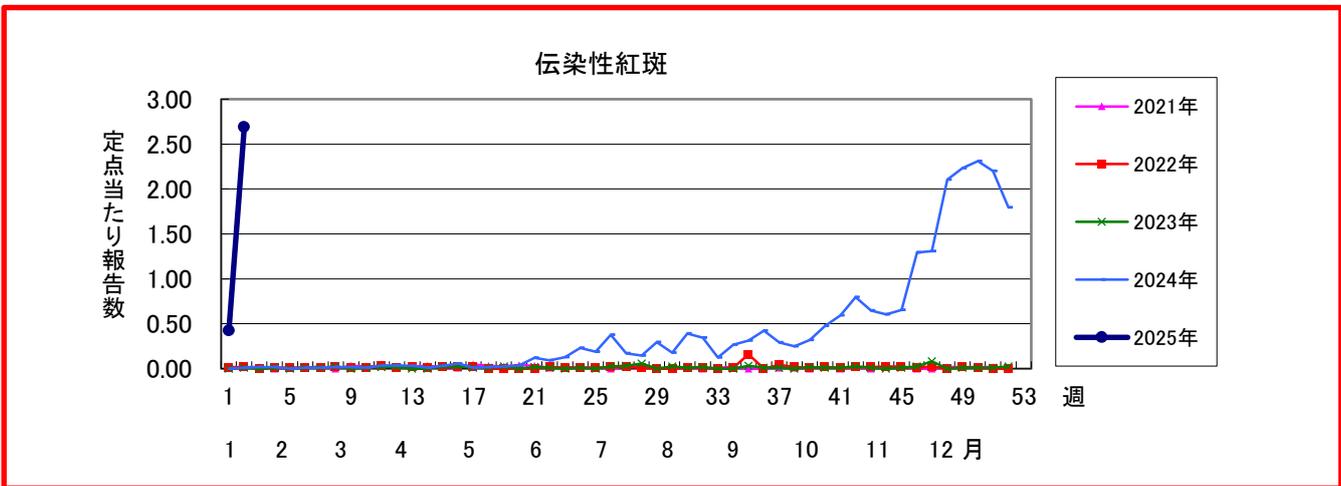
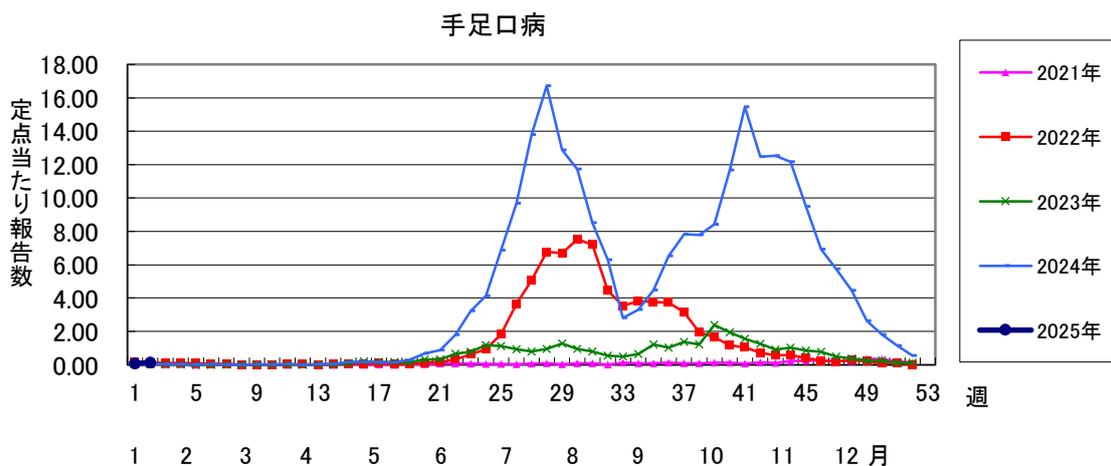
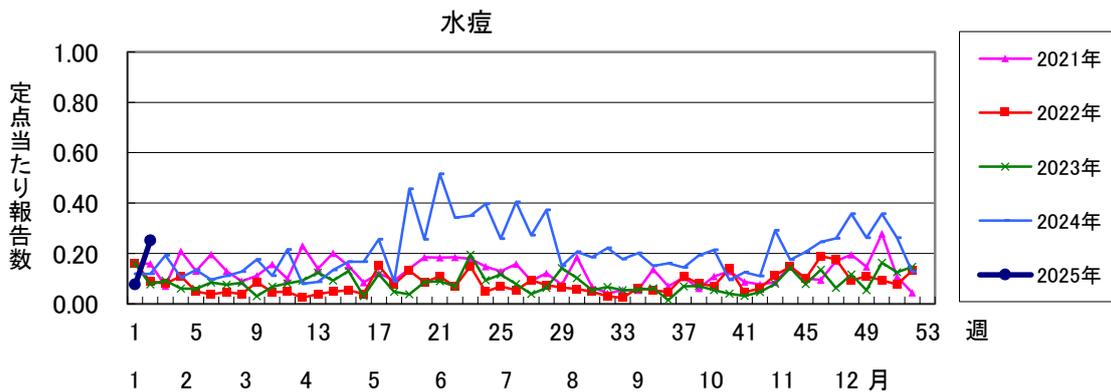
2019年以降減少傾向にあったが、2023年は増加に転じたことから(図3)、今後の発生動向に注意が必要である。

なお、今年届出のあった13例の概要は以下のとおり。

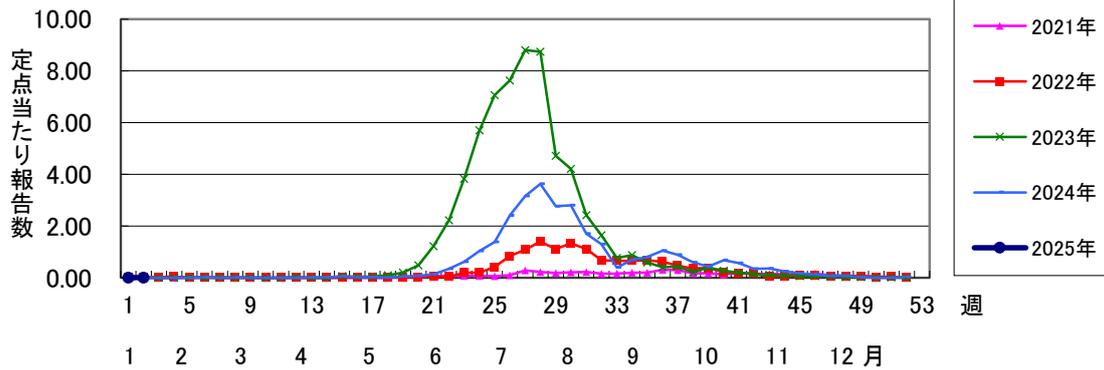
性別では、男性が7例(54%)、女性が6例(46%)であった。年代別では、5～64歳、65歳以上がともに6例(46%)、5歳未満が1例(8%)であった。ワクチン接種歴については、5歳未満の1例に3回のワクチン接種歴(3回ともワクチンの種類は不明)、10代の1例に4回のワクチン

図3：2013年から2025年第2週までに届出のあった侵襲性肺炎球菌感染症届出数(n=1,181)

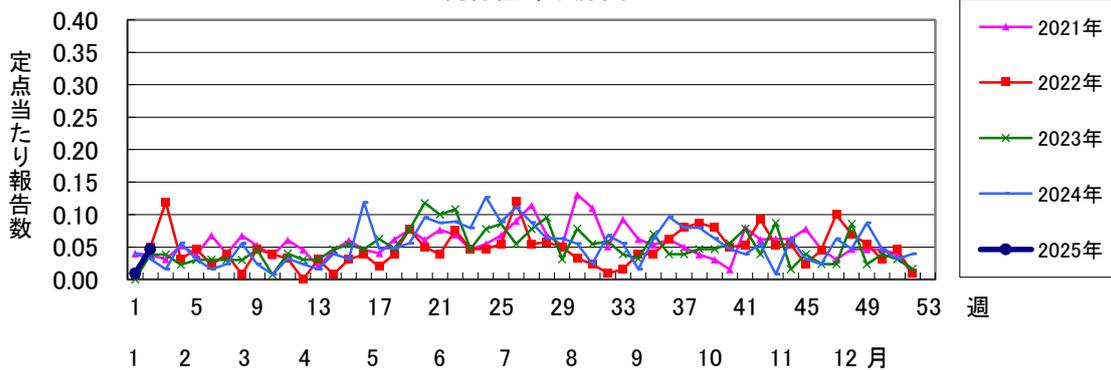




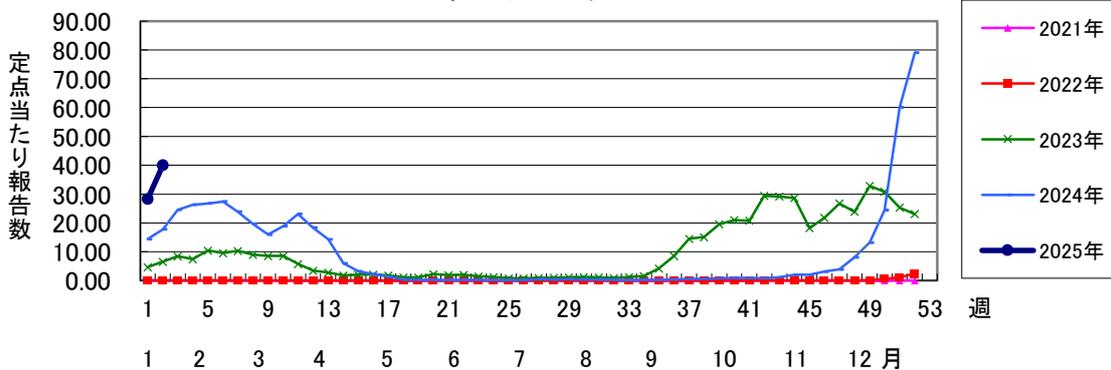
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

